

発行：山形県舟形町議会  
平成27年7月24日



## 新議員の議席決定

新議会構成	2 P
5月臨時会・6月定例会概要	4 P
質疑応答	5 P
一般質問に7議員	7 P
議会報告会	14 P
町民の声・人事案件・議会活動・請願	16 P
えがったなあ・編集後記	18 P

# 議会新構成決まる

## 議長に八鍬太氏選出 副議長に加藤憲彦氏再任

5月1日の臨時会で議長、副議長を10人の議員による選挙で選出しました。各常任委員会の所属議員も決まり、新たな決意でよりよい町づくりに取り組みます。



7番 佐藤広幸 議員



6番 齋藤好彦 議員



1番 伊藤欽一 議員



8番 叶内富夫 議員



5番 奥山謙三 議員



9番 加藤憲彦 議員



4番 佐藤勇 議員



10番 八鍬太 議員



3番 石山和春 議員



2番 小国浩文 議員

### 質問者席

#### 議長あいさつ

議長 八鍬太

町民の皆様には日頃より、議会活動に対しましてご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。去る4月に実施されました統一地方選挙によりまして、町議会も新たに10名の議員が決まりました。町民の皆様のご支援と負託に応え、より開かれた信頼される議会を目指して、決意を新たに議会活動がスタートしました。私もこのたび新しく議長に選出されましたが、責務の重大さを認識し、粉骨砕身努めてまいります。

「地方創生」の推進に向けた取り組みが本格的に動き出し、町においても様々な計画の立案、見直しが行われますが、舟形町の確かな「未来予想図」が描けるよう、議会の持てる機能を最大限に発揮して地域の課題解決を目指してまいります。

梅雨明けを思わせるような暑い日が続いておりますが、町民の皆様にはお身体をご自愛のうえ、今後ともご指導ご支援よろしくお願ひ申し上げます。

#### 議会運営委員会

議会の運営、会議規則、委員会に関わる条例等の事項及び議長との諮問に関する事項を所管する。

- 委員長 叶内富夫
- 副委員長 奥山謙三
- 委員 佐藤広幸
- 委員 齋藤好彦

#### 文教民生常任委員会

民生費・衛生費・教育費・国民健康保険などを所管する。

- 委員長 奥山謙三
- 副委員長 佐藤勇
- 委員 八鍬太
- 委員 加藤憲彦
- 委員 叶内富夫
- 委員 佐藤広幸
- 委員 伊藤欽一

#### 総務振興常任委員会

総務費・農林水産費・土木費などを所管する。

- 委員長 佐藤広幸
- 副委員長 齋藤好彦
- 委員 八鍬太
- 委員 加藤憲彦
- 委員 叶内富夫
- 委員 石山和春
- 委員 小国浩文

#### 議会広報常任委員会

議会報の企画、編集及び発行に関する事項ならびに広報広聴に関する事項を所管する。

- 委員長 齋藤好彦
- 副委員長 奥山謙三
- 委員 佐藤勇
- 委員 石山和春
- 委員 小国浩文
- 委員 伊藤欽一

#### 議会選出委員等

- 最上広域組合議会 佐藤勇
- 監査委員 齋藤好彦

#### ●常任委員会とは

議会が条例で定め常設する委員会です。議員は、複数の常任委員会に所属します。

広範多岐にわたり専門化複雑化している行政事務を部門別の委員会でも能率的に審議調整するため、

- 総務振興常任委員会
- 文教民生常任委員会
- 議会広報常任委員会

の3委員会を設置しています。各常任委員会は、それぞれの所管事務調査と、請願、陳情などの審査を行います。

※(所管事務調査)それぞれの委員会が分担している町の仕事について調べること。そして、改善・改良すべきことを指摘したり、政策の提案などを行うもの。



第2回臨時会  
5月1日  
第2回定例会  
6月4日～10日

# 平成27年度一般会計補正予算

## 総額3億1044万円

6月定例会は、4日から10日までの会期で開催され、7人の一般質問に続き、一般会計補正予算等、全議案を原案通り賛成多数で可決しました。

### 主な事業

#### ふるさとづくり応援事業

ふるさと便購入費	1億9000万円
取扱手数料	5628万円
積立金	3372万円
社会資本総合整備事業	1740万円
（舟形・一の関線歩道用地購入等）	
道路維持事業	570万円
（町道ガードレール修繕等）	

### 審議された議案

#### 第2回臨時会

平成26年度一般会計予算繰越明許計算書の報告

#### 6月定例会

- 舟形町振興公社経営状況の報告
- 平成27年度一般会計補正予算
- 町いじめ防止対策の推進に関する条例の設定
- 町国民健康保険税条例の一部改正
- 新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の締結
- 財産（旧長沢保育所）の無償貸付（障がい者就労支援事業所として利用するため）
- 町監査委員の選任

※（繰越明許）歳出予算のうち、年度内に支出が終了しない見込みの経費で、翌年度に繰越し使用できるもの（財政法第14条3項）。

## 質 疑 応 答

### 6月定例会

#### 平成26年度(株)舟形町振興公社経営状況報告

**議員** 温泉の食材仕入れ先は、町内の業者を利用しているのか。

**産業振興課長** 野菜等は「産直まんさく」が主体です。肉類については入札により、庄内の業者を利用しています。今後は可能な限り町内の業者を利用するようしていきます。

**議員** 振興公社の収支決算書は、温泉、コテージ、加工所と部門別になっていないので、各部門の経営状況が分からない。

**産業振興課長** 各部門別に決算報告ができるよう検討します。

**議員** 振興公社決算書の消耗品費が大幅に増えている原因は。

**産業振興課長** 旧富長小に新設された加工所関係の消耗品費が大幅に増えたことが原因です。

**議員** 若あゆ温泉に宿泊施設建設の考えは。

**町長** 建設の場所、財源の確保等について、後期の総合発展計画、まちづくり審議会等で検討していきます。

#### 平成27年度一般会計補正予算

**議員** 社会資本総合整備事業1740万円の内容は。

**地域整備課長** 道路、橋梁、消雪の維持・改良に伴う測量・設計業務委託料と、舟形・一の関線の歩道用地購入費450万円です。



雪により破損したガードレール（舟形太郎野線）

**議員** 道路維持事業の修繕料240万円によるガードレール修繕箇所は。また、毎年のように破損しているが、雪国に合った維持管理ができないのか。

**地域整備課長** 修繕箇所は舟形太郎野線、折渡松原線、二ツ屋大平線、瀬脇洲崎線で、スクールバス路線を優先に計画しています。安全安心のため、ガードレール等の維持管理について検討します。



多くの方々に利用されているグラウンドゴルフコース（若あゆ温泉）



※一般質問とは：定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問・政策提言をすることです。



乳幼児への読み聞かせ（ブックスタート事業）

**質問** 福祉政策は権利として保障する事業が多いため、対象者の受給資格を確定しサービス給付の公平性を実現すると同時に、地域や個人の事情を考慮し、事業の有効性を高めるといふ課題に応えていかなければならない

齋藤 好彦 議員



# 福祉サービスの拡充を

## ニーズに応じたサービスの充実を図る

とあります。また、福祉政策は「人相手のサービス」であり、専門職としての人材育成と人材確保が重要であります。福祉のまちを宣言している本町として、今後の福祉サービス拡充について、町長の考えを伺います。

検討します。今後、だれもが地域の中でみずからサービスを選択し、利用しながら自立した生活ができるよう、町民の福祉ニーズに応じた福祉サービスの充実を図ってまいります。

と考えます。町職員参加型地域おこしについて町長の考えを伺います。



地域づくり研修会（富長地区連合町内会）

**町長** 福祉サービスは、専門的資格を有する人材確保が必要のため、社会福祉士や社会福祉主事の資格取得の支援を行い、業務遂行のスキルアップを図りたいと思います。今後のサービス拡充として、①灯油購入助成事業の対象者や費用の拡大、②子育て支援医療給付事業の対象を高校生まで引き上げ、③1歳から任意接種の「おたふく風邪予防接種」への助成などを

**質問** 町職員は業務上の知識や豊富な経験を持っており、地域社会の有力なメンバーになり、時には強力なリーダーにもなり得る人材です。町職員参加型地域おこしは、町民と一緒に実践していくなかで、町民目線で考え行動することが可能となり、共感が生まれるもの

**町長** 地域担当制は、県内市町村の例を見ても職務や支援の内容、住民の主体性を確立する地域との関わり方、地域担当職員としての活動時間の確保と本務との調整、地域課題に対応できる職員の育成、行政内部のコーディネート機能、職員の理解など、様々な課題があります。このようなことから、これまでのように地元の職員が一住民として関わりながら地域担当制の役割を担っていきたいと思います。今後、さらなる集落の高齢化や人口減少の進展が予想されることから、集落機能の維持が困難となるなどの

不安を抱え、特に、町職員がいない町内会において、地域担当職員の受け入れ希望があれば、課題事項を精査し実施したいと思えます。

**議員** 診療所事業の工事費の内容は。町、診療所の経費負担割合について契約書に明記されているのか。

**税務福祉課長** 今回の修繕箇所はトイレ改修工事、現状の和式から洋式トイレにするものです。契約書の内容に従い町負担となります。

**議員** 観光物産センターの管理運営はどうなっているのか。

**産業振興課長** 観光物産センターの管理、ふるさと納税事務、結婚サポートセンター業務について、商工会が立ち上げた「榊舟形町まちづくり公社」に管理運営を委託しました。



まち活性化に期待される、商工会に事務所を置く榊舟形町まちづくり公社

**議員** 新嘗祭の準備は万全か。

**産業振興課長** 舟形町からは、米と粟を提供する方それぞれ1名の方をお願いしています。粟については、作ってきた経験者がいないということもあり、県農業技術普及課や農協から技術的な指導を全面的に協力していただいています。

**議員** ふるさと納税は、今年度はどの程度見込んでいるのか。また、現在の納付額は。

**まちづくり課長** 町では4億円を見込んでいます。5月末現在で1億190万円納付されており、返礼品の7割弱は米を希望されています。これからも納付額の増加に努めていきます。

## いじめ防止対策の推進に関する条例の設定

**議員** 舟形町いじめ防止対策連絡協議会、いじめ問題対策委員会、再調査委員会のメンバーについては、事態が発生してから人選し設置するのか。

**教育次長** 協議会は常設で、学校の教職員、PTA連絡協議会の代表、警察の職員、人権擁護委員、児童相談所職員、教育委員会職員等をもって設置します。対策委員会、再調査委員会は、重大事態が発生した場合に設置します。

## 財産の無償貸付

**議員** 障がい者の就労支援についての問い合わせ窓口はどこになっているのか。

**税務福祉課長** 税務福祉課の福祉担当が随時相談を受けています。また、同課に社会福祉協議会も設置されており、今後も2つの窓口で対応してまいります。

舟形町では、55年ぶり。宮中の恒例行事である新嘗祭（例年11月23日に天皇が収穫したばかりの穀物を神に供える儀式）に献穀することになりました。



にいなめさいけんこくでんおたうえしき 新嘗祭献穀田御田植式





伊藤 欽一 議員

# 今後の地域づくりの政策を問う

## 集落支援員による地域づくりを推進する



地域を元気に歌と踊りの競演

**【質問】** 地域が元気なまちづくりについて、長沢地区を例に質問します。平成10年に長沢中学校が統合し、20年に保育所、25年には長沢小学校と、地域にとりましては教育の核だけでなく、多くの地区民の皆さんが集える機会が無くなったと言えま

す。日本の人口は2008年をピークに減少に転じ、2100年ではピーク時の4割になるとの予測もあります。都会のように便利でなくても人のつながりを大切に、無駄なものも求めず、シンプルでも満ち足りた暮らしを営

めるようなまちづくりが必要と考えます。  
**町長** 広報ふながた新年号で町長は、地域づくりと人材育成などの政策に取り組むとありましたが、町長の考えをお伺いします。  
**【町長】** いまや日本全体の課題であります、人口減少・少子高齢化の進展に伴って、舟形町でもいち早くこの対策に取り組んでまいりました。  
平成22年度に策定した第6次舟形町総合発展計画では、現状や将来展望を踏まえたうえで、4本の柱の1つとして「互助・共有・自立による協働のまちづくり」を掲げております。町民主体のもとにまちづくりが効果的に促進されるよう、町民の参画と連携のための環境づくりと、地域における特色ある自主的な活動を支援しながら、自立型地域づくりに取り組むという方向性を打ち出しました。  
また、24年度からは、地域力の維持・強化を図

るとともに、定住・定着をしてもらうための意欲ある人材を都市圏から誘致する取り組みである、地域おこし協力隊の制度に取り組みしております。  
今年度からは、集落の目配り役として町内の集落を巡回し、地域づくり活動を支援する、集落支援員を堀内地区と富長地

区に1名ずつ配置しております。  
今後は、地域での話し合いを支援する集落支援員の増員と、地域づくりに関わる町職員の研修に努めます。



楽しく輪投げで交流



奥山 謙三 議員

# 舟形町農業の展望を問う

## 関係機関と連携して、集落営農の組織化を進める



さらに活用が期待されるラジコンヘリによる作業

**【質問】** ①認定農業者を増やすために、認定農業者制度の周知と申請への対応は。  
②これからの地域農業について、各集落、特に中山間地の多い地区に対する話し合いのきっかけづくりの対応は。

③集落営農について、町の推進方向、体制づくり、法人化等の周知も含め、どのような対応を行っているのか。以上、質問します。

**【町長】** ①認定農業者制度の改正について、平成26年度からの集落座談会の開催とチラシ等による対応をしています。  
今後とも、広報誌や関係チラシ等を送付し、周知徹底に努めたいと考えています。

②平成25年より認定農業者と担い手農業者により、人・農地プランの実行に向けて話し合いを行なっています。引き続き、集落座談会の開催や多面的機能事業での説明会をきっかけとしながら、話し合いの場を設けていき

たいと考えています。  
③集落営農の組織化については、多くの課題がありますが、近い将来には組織化、法人化は必要不可欠なものと考えますので、関係機関と連携して取り組んでいきたいと思

います。  
**【質問】** 縄文の女神の町内常設展示施設の設置の検討が行われているようですが、国宝の展示施設の設置方法、基準、学芸員の配置、施設の維持等について町からの負担が永続的に無いかあるのかも含めて、現段階の計画を質問します。  
**【町長】** 縄文の女神の町内常設展示施設の設置の検討が行われているようですが、国宝の展示施設の設置方法、基準、学芸員の配置、施設の維持等について町からの負担が永続的に無いかあるのかも含めて、現段階の計画を質問します。  
**【町長】** 縄文の女神の町内常設展示施設の設置の検討が行われているようですが、国宝の展示施設の設置方法、基準、学芸員の配置、施設の維持等について町からの負担が永続的に無いかあるのかも含めて、現段階の計画を質問します。



西堀地区の方々により、きれいに管理されている縄文の女神像

も含まれて、現段階の計画を質問します。  
**【町長】** 縄文の女神の町内常設展示施設の設置の検討が行われているようですが、国宝の展示施設の設置方法、基準、学芸員の配置、施設の維持等について町からの負担が永続的に無いかあるのかも含めて、現段階の計画を質問します。

願いできないと考えています。  
この構想の実現は、最上地域に住む人々の誇りと愛郷心を培い、人口の増加や最上地域の観光振興にもつながるものと考えます。





佐藤 広幸 議員

# コンビニ出店で商店の活性化を

## 町営バス無料化の実証実験を行う



舟形初のコンビニエンスストア

**【質問】** 5月末にオープンしたファミリーマートは舟形町初のコンビニエンスストアです。中学生議会や、もてナイカップルからも要望が強かった中で、町としても待ち望んでいた出店ではなかったかと思えます。ファミリーマート側か

ら要望があった移動販売車導入への補助金申請について、町内の他の商店主も希望する場合は同様な補助金の交付は受けられますか。また、コンビニ駐車場内にバス停の要望がありました。現在の町の考えを質問します。

**【町長】** 昨年ファミリーマートから、当町出店に伴い、移動販売車購入補助金、販売車購入補助金の相談があり、県の高齢者等安心生活構築推進事業の移動販売車購入支援事業に該当するので、今年度申請をするものです。

**【町長】** 昨年ファミリーマートから、当町出店に伴い、移動販売車購入補助金、販売車購入補助金の相談があり、県の高齢者等安心生活構築推進事業の移動販売車購入支援事業に該当するので、今年度申請をするものです。

県の要綱により、当町が今年度中に県に対してさらに追加申請する場合は補助対象となりますが、同じ事業項目では二年目以降は原則として該当しなくなります。また、バス停の設置の件ですが、町としては、停留所の機能と、町営バス及びファミリーマート利用客の安全性が確保できれば、高齢者等の買い物弱者対策と社会参加活

動の推進のために、停留所の新設をしたいと考えています。しかし、場所が狭いこと、町営バスの一部路線変更を伴うことから、舟形町地域公共交通会議において協議をすすめていきたいと考えています。次に、町内の商店の活性化を図る一方策として、町営バス無料化について、今後、国土交通

省の許可を得て1カ月程度の期間限定で無料化の実証実験などの調査を行い、乗車密度や商店の活性化のための有効性などを探り、公共交通としての町営バスのあり方を検討したいと考えています。



多くの方の利用を望みたい



小国 浩文 議員

# 障がい者の就労支援について

## NPO法人による障がい者就労事業を支援する



最上障害者就業・生活支援センター（新庄市）

**【質問】** 舟形町は残念ながら人口減少に歯止めが掛からぬ状況にあります。そこでいろいろ問題がある中で今回は舟形町総合発展計画に記載されている、福祉のまちづくりの現状と、障がい者の就労支援を、町としての

ようにされているのか、この点に絞って伺います。まず、町の精神障がい者等をどのように把握していますか。また、それぞれの就労状況はどのようになっていますか。ご本人がそう望んで障がい者になったものではありませんか。その障がい者が、就労の場に苦勞され、さらに職場への通勤に難渋されている方もおられるようです。これらの方々にきめ細やかな支援をしていかなければならないと思えますが、町の考えを伺います。

**【町長】** このまま地方から大都市への人口流出が続けば、全国の約半数の市町村が消滅する恐れがあると推計がなされています。人口減少問題を克服

服する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の柱は、東京一極集中の是正と出生率の向上です。このため、国の長期ビジョンを踏まえた「総合戦略」では、4つの「基本目標」が示されました。その一つに、「地方への新しいひとの流れをつくる」があり、東京圏から地方への移住の促進、地方出身者の地元での就職率向上など、地方への新しい「ひと」の流れづくりの取り組みが求められています。

障がい者就労支援については、新しく設立しました舟形町のNPO法人もがみ福祉ネットより、就労継続支援A型事業所や生活介護を行う多機能型事業所を開設するため町に旧長沢保育所の借用

の申し出がありました。当町に事業所が開所されることになれば、現在、新庄市の就労支援事業所を利用して町内の方々の、交通手段や送迎

条件が整うことになり、ご家庭の負担も軽減されると考えます。 ※A型事業所とは、障がい者が雇用契約に基づき、一般就労へ必要な訓練や支援を行う事業所。



障がい者就労支援事業所として活用される旧長沢保育所





佐藤 勇 議員

# 減反廃止に向けた取り組み

## 町単位で多面的機能支払交付金の活用を指導



休耕田を利用した根曲がり竹の栽培

**【質問】** 40年以上続いた減反制度の廃止により、条件不利な農地は返され耕作放棄地が拡大し里山が荒れてしまっています。農地を自然に戻す取り組みとして、その土地に合わせて、根曲がり竹、ワラビ、ぜんまい、行者にんにくなど多くの山菜や薬用作物を作付けて、町へ多くの人に山菜取りに来てもらうために、農業者と地域住民と一緒に取り組むべきではないか。

**【町長】** 町の農地の不作付地の面積は115ヘクタールであり、今後も米価低迷、農業従業者の高齢化、米の直接支払交付金の廃止等により、離農者が増加し、集落を構成する人口も減少するもの懸念されているなか、耕作放棄地の再生に向け、ラズベリー、ワラビの栽培と生産販売に取り組んできています。農地の荒廃防止と農地の有効活用、農地集積等

**【質問】** 小学校が統合して3年目、旧小学校では今より食農教育による学校畑・畑への取り組みがなされていたと思います。小学校前のバス車庫近くの農地を利用して、保小・中・地域が一体となって作付けから収穫までを体験し、食の大切さ、農業の素晴らしさ、舟形の良さを学び、「ふるさと」へ帰る子どもを育てていくことが大事であると思います。今後の食育の考えを伺います。

も行いながら、集落単独の取り組みでなく、広域的な地域や町単位で多面的機能支払交付金を活用し、農地保全の共同活動、集落間で共同購入しコスト削減するなど、日本型直接支払制度が活用されるよう指導を行なっていきます。

**【質問】** 学校給食を自給自足にする取り組み、地産地消の給食と食育を一体として取り組む

**【町長】** 町では、「学校経営計画」の中に、食育計画を定め、地産地消を取り入れた給食と食育を一体的なものとして積極的に取り組んでいます。また、小学校の総合学習で、単に地元の農作物を食べるだけでなく、育てることから農業を知ってもらい、子どもたちに感謝の心と、郷土の伝統・文化を大切に、郷土を愛する心を持つ子どもを育てるため、食農教育の一環として全学年で



小学校北側の畑



出馬表明をする奥山町長

**【質問】** 奥山町長は、町民総参加による健康で住みよい、安心なまちづくりを主な公約に掲げ、無投票当選で平成20年2月に第15代舟形町長に就任されました。就任以来、再選を含め7年数カ月を振り返り、公約の達成度等自己評価したら何点くらいと考えていますか。

また、次期町長選に三たび立候補する考えがあるのか、決意があれば、その所信をお伺いします。

**【町長】** 達成度については、分野、領域で達成されたものもありますが、全体を網羅した達成度は、道半ばであると思っております。

「出会い、ふれあい、支えあい」新たな結の創造」の第6次総合発展計画をしっかりと実現していかなければならないという強い決意を込めて「2期目までの政策課題の継続」「雇用の創出」「結婚支援と子育て支援」「定住と移住促進」「農業・福祉・観光産業の推進」「農商工連携による第6次産業の推進」「交流人口の拡大」

「防災対策と克雪対策」「保小中一貫教育の推進」「縄文の女神活性化事業」「人材育成と地域づくり及び健康づくり」「ふるさと応援事業」等これらの具現化のため次世代に思いを馳せながら町民の皆さんが心豊かで安心して元気に暮らせるように、生きがいと自信誇りを持てるように、人と人が絆を結び合えるように、躍動感あふれるまちづくりのため、町民の皆さん並びに議員各位のご協力を賜りながら、3期目に立候補させていただきます、その任に果敢に挑戦し、誠心誠意努力して参りたいと考えています。

**【質問】** わが国「日本」は古来より農耕民族として稲作を中心とした生活を営み、いろいろな文化、生産技術が引き継がれてきました。稲わらを活用した文化もそのひとつであります。「み」や「わらじ」、「米俵」など、生活や生産の道具として伝承してきま

**【町長】** わが国「日本」は古来より農耕民族として稲作を中心とした生活を営み、いろいろな文化、生産技術が引き継がれてきました。稲わらを活用した文化もそのひとつであります。「み」や「わらじ」、「米俵」など、生活や生産の道具として伝承してきま



わら細工教室

**【町長】** 当時は、国宝「縄文の女神」をはじめとする縄文文化を町おこしにと計画しており、稲わら文化だけでなく民俗や風俗に係る伝統的なものを保存伝承する意義は大きいと思います。その重要性を十分に認識し、保持のための取り組みを行なっています。

**【町長】** 当時は、国宝「縄文の女神」をはじめとする縄文文化を町おこしにと計画しており、稲わら文化だけでなく民俗や風俗に係る伝統的なものを保存伝承する意義は大きいと思います。その重要性を十分に認識し、保持のための取り組みを行なっています。

叶内 富夫 議員

# 次期町長選への出馬は

## 果敢に挑戦し、誠心誠意努力します



# 第6回議会報告会

2月12日、13日に議会報告会を開催し、各会場で行った質問や要望事項を議員全員で検討し、町長へ報告しました。主な質問と回答は次のとおりです。

## 議会に関する事項

**質問** 常任委員会と特別委員会の違いは。

**回答** 常任委員会は常設で、総務振興と文教民生の2常任委員会。特別委員会は、特別の調査・事務、期間を定め設置される委員会です。



富長地区 議会報告会 (富田公民館)

## 町に関する事項

**質問** 旧富長小学校は、加工以外どのような活用をするのか。

**回答** 旧富長小学校は、企業誘致ができるまでの間、条例を制定して富長交流センターとして当面活用することとし、町民の方々に提供しております。したがって、町民の皆さんから富長地区を含む交流の場として活用していただきたい。現在の利用は、主に体育館だけで、スポ少や中学生の部活の場所として活用されています。

(総務課)



6次産業の拠点として活用される加工所 (旧富長小)

**質問** 5月1日から常任委員会が2から3常任委員会となる理由は。

**回答** 総務振興、文教民生常任委員会に加え、議会広報常任委員会を新設しました。1議員が2委員会に所属できるように改正を行い、議員活動の範囲を拡大しました。

**質問** 基本条例第2章の解説に「町民の多様な意見を反映させる議会運営」とあるが、町民や集落の意見をどのように反映させていくのか。

**回答** 皆さんからの要望・意見については、議会報告会や各委員会等と意見交換会を実施しています。請願・陳情という手法もあります。今後とも、多様な意見を反映させる議会運営に心がけていきます。

**質問** 基本条例第7章政治倫理に違反した場合は、どうなるのか。

**回答** 明確な違反、倫理規定に抵触した場合は、懲罰規定の中で対処していきます。

**質問** 基本条例第12条「議員定数及び報酬については、1期間中一回以上は検討」とあるが、誰が行うのか。

**回答** 議会で行います。

**質問** 長沢3の不動沢は、水が少なく、歩くのが危険で水路も壊れている。危険箇所の改修を要望したい。

**回答** 当該箇所については、各種災害復旧事業の適用が困難と思われる。今後、水路の利用状態、改修方法、他の補助制度についても町内会と話し合いながら、どのような方法が良いか検討します。

(地域整備課)

**質問** 空き家対策をどのように考えているか。家を解体すれば固定資産税が上がる。町の補助金制度はどうなっているか。

**回答** 空き家等の対策と活用を図るために「空き家対策の推進に関する特別措置法」が公布施行されました。また、空き家が放置されることへの対策として、固定資産税の軽減措置が除外されることになりました(国の税制改正)。町では、関係法令に従いながら対策を行うとともに、解体補助金の増額を行い、解体を促進します。一方、利用可能な物件は空き家バンクへの登録をすすめています。今後は県内で組織された「山形県空き家対策連絡調整会議」と連携を図り、対策に取り組んでいきます。

(まちづくり課)



議会報告を受ける町民の方々

**質問** 基本条例第4条で「参考人制度及び公聴会制度を活用し」とあるがどのようにするのか。

**回答** 議会の審議において、専門的な知見等を要する場合に活用できる制度で、地方自治法第100条の2に規定されています。当議会では、まだ活用したことはありません。

**質問** 基本条例第2条第3号に「傍聴に関し、できる範囲で資料を提供するなど」とあるが、傍聴の際の資料は、どの程度を考えているか。

**回答** その日の審議予定表を配っています。今後、充実していく上では、執行部とも協議を行なっていきます。

**質問** 町は「子育てするなら舟形町」を標語に子育て支援を実施しているが、子供が成長して、舟形町に帰郷し、定住できるような政策はないか。

**回答** 当町において今最も必要なのは「就労」と考えています。企業が町に来やすいような様々な補助制度を設けていますが、厳しい状況です。現在、新庄最上地区の市町村が協力し合い、新庄中核工業団地への企業誘致活動に力を入れています。また、平成27年度に策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」でも、様々な角度からその対策を検討します。

(まちづくり課)



人口増に期待される定住促進住宅

**質問** 町内会に町営住宅等が新築されると、新たな住民が転居してくる。人が増えることはよいことだが、どのように町内会運営を図っていくかが問われている。町内会の区割りの変更を考えていく必要はないか。

**回答** 当該地区の町内会役員の方々との話し合いにより、課題を整理し、どのような形態が良いのかを探っていきます。

(まちづくり課)



# 声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

この用紙を前にして「舟形第3町内会」が一番の「所帯である」と聞いて、ますます責任の重さを感じています。立ち上げて2年目となる女性委員会は10名しかいないので、もう少し増やしたいと声がけをしているところです。

昨年は、子供たちを多く知るためにラジオ体操へ参加し、その後草むしりなどして、清々しい朝を過ごすことができました。今年も行いますので、多数の参加を期待しています。

6月初めに、消防士の方による救急蘇生法を学びました。青年部、消防団の方々も多く参加して有意義な勉強会となり、今後何かあった時には（何も無いことを願いつつ）技術を生かせるようにしたいと思います。

10月末の予定として、舟形第3町内会の健康教室、11月はオリンピック&芋煮会があります。

そしてこれからも、今まで自分を支えてくださった町長さんはじめ、町内の皆様方への恩返しをするつもりで、身体に気を配りながら頑張りたいと思っています。



舟形第3町内会女性委員長  
伊藤 竹子さん  
(舟形第3)

## 町民に読まれる議会報を目指して

### 議会広報研修会（5月22日）

山形国際交流プラザで開催された第32回町議会広報研修会に、当議会からも広報常任委員と事務局職員が参加しました。

県内各町村の広報編集委員を対象に、広報・編集コンサルタントの芳野政明氏による「住民に読まれ議会活動が伝わる議会報の基本と編集技術」の研修を受けました。

舟形町議会基本条例にあるとおり、町政に係る重要な情報を、皆さんにわかりやすい表現でお伝えできるよう、今後も議会広報の充実に努めていきます。



## 監査委員の選任に同意



星川 基氏  
舟形第3  
(64歳)

任期は  
平成27年7月1日より  
平成31年6月30日まで

## 国会議員に要望活動

### 議員中央研修（7月13日～14日）

国会議員の岸宏一氏、大沼みずほ氏、加藤鮎子氏を表敬訪問し、舟形町の実態を把握していただくため、次のとおり要望活動を行いました。

#### 要望事項

1. 「主要地方道新庄次子村山線」道路改良促進並びに堀内橋橋梁整備促進について
2. 「町道福寿野岡矢場線」新設改良事業の早期採択並びに交差点改良の促進について
3. 防災センター整備事業並びに防災行政無線デジタル化に伴う補助事業の創設について

## 請願・陳情

6月定例会で審査した請願・陳情は次のとおりです。

●「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請」についての請願

継続審査

請願者 山形県教職員組合最上地区支部

支部長 伊藤 充弘

●年金積立金の安全かつ確実な運用に関する請願

採択

請願者 連合山形新庄最上地域協議会

議長 渡辺 裕一

●TPP交渉に関する陳情

採択

陳情者 農民運動山形県連合会

会長 花鳥賊 義廣

## 請願・陳情のしるし

国や県、町などに対して意思を表明する手段の一つとして、「請願」「陳情」があります。受理した請願書、陳情書は、議長決裁の後、議会運営委員会に諮られます。その後、議会に諮られ、該当する常任委員会に付託し審査された後、本会議で採択・不採択のいずれかを決定します。

## 意見書

6月定例会で可決された意見書を政府、関係機関に提出しました。

●年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書（要旨）

公的年金は高齢者世帯収入の7割を占め、6割の高齢者世帯が年金だけで生活しており、年金は老後の生活保障の柱となっている。

年金積立金は、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すべきものであり、被保険者の意思確認がないまま、政府が一方的に見直しの方向性を示すことは容認できない。年金積立金が、き損した場合被保険者および受給者が、被害を被るようになるのを防ぐためにも、国及び政府に対し強く要望する。

●TPP交渉に関する意見書（要旨）

日米首脳会談において、日米両国は2国間協議を大きく進展させ、TPPの早期妥結へ向けて交渉している。しかし、米や牛・豚肉などの重要品目について、引き続き再生産可能となるよう除外または再協議の対象とすることとした国会決議を必ず順守すべきである。よって、国や政府に対し強く要望する。

## 自治功労表彰

信夫 正雄 氏

・全国町村議会議長会表彰

・議員在職15年以上

・特別表彰

・山形県町村議会議長会表彰

・議長在職5年以上

八鍬 太 氏

・全国町村議会議長会表彰

・議員在職15年以上

叶内 富夫 氏

・山形県町村議会議長会表彰

・議員在職11年以上

野尻 益夫 氏

・山形県町村議会議長会表彰

・議員在職11年以上







# シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さんをご紹介します。

# えが ったなあ



舟形町に嫁いで来たお嫁さんです。  
今回は、新庄市から長者原に嫁いで来た押切真莉子(旧姓園部)さんです。

皆さんよろしくをお願いします。

## お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。  
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)  
舟形町役場議会事務局  
TEL 0233-32-2111(代)

□舟形町に望むことはありますか？  
子どもを沢山欲しいと思ってるので、これから「子育てするなら舟形町!!」に継続して力を入れていってほしいです。

□舟形町の良いところ・悪いところがありますか？  
降雪量が多く除雪作業がたいへんな所が不便ですが、道路の除雪がとても上手だと思います。雪道の運転も安心です。

□舟形町での生活はどうですか？  
親切なご近所、優しい家族に囲まれ、毎日楽しく過ごしています。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？

尾花沢の老人ホームで職場の同僚として出会いました。

□どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？

## 表紙の説明

4月26日執行された町議会議員選挙で当選した新人3名・現職7名の議員です。

初議会で新人議員は緊張した面もちで議席に着いています。

議員は町民の代表者であることを常に忘れず、奉仕者の気持ちを持って議員活動をし、町民に開かれた議会の実現をめざします。



## 次回の定例会は

# 9月9日(水)~17日(木)

までの予定です。

皆様の傍聴をお待ちしています。

## お問い合わせ先

議会事務局 ☎32-2111

## 編集後記

清流小国川でも待望の鮎釣りが解禁され、舟形町が一年で一番にぎわう時期になりました。釣り客による交流人口の増加が町の振興につながればと思います。

7月号は、広報常任委員会の新委員による初の議会だよりで、委員各自が担当コーナーの紙面づくり、写真のレイアウトに苦しみました。改選後の議会構成や6月議会での議案審議内容、議会報告会の様子を盛り込んだ、内容満載の18ページにわたる議会だよりができました。

今後は議会基本条例に明記した「議会広報の充実」を基本に、広く町民に読まれ、議会活動が伝わる、議会だよりづくりに努めてまいりますので、議会だよりへのご意見、感想をお寄せください。

(斎藤 好彦記)

## 発行責任者

議長 八 鍬 太  
議会広報常任委員会  
委員長 斎藤 好彦  
副委員長 奥山 謙三  
委員 佐藤 勇春  
委員 石山 和浩  
委員 小国 文一  
委員 伊藤 欽